

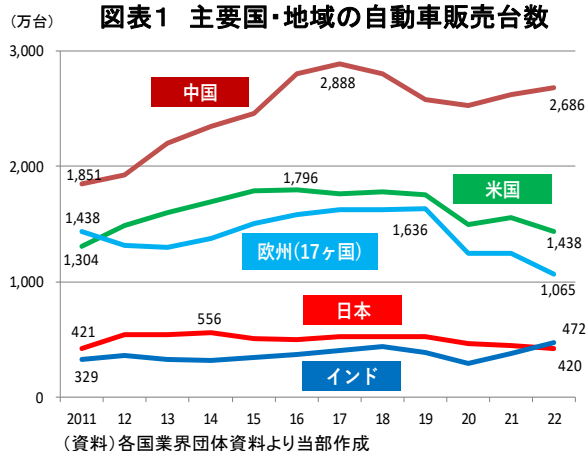
## 有望視されるインドの自動車市場

### 2022年の自動車販売 インドが世界第3位へ

2022年の国内新車販売台数(軽自動車含む)は420万台(前年比▲6%)と、4年連続して前年を下回りました。半導体不足による供給制限があったとはいえ、販売台数は東日本大震災があった2011年を下回る低水準となっています。

グローバルでは、インドが472万台と初めて日本を上回り、単一国では中国、米国に次ぐ世界第3位となりました(図表1)。

図表1 主要国・地域の自動車販売台数

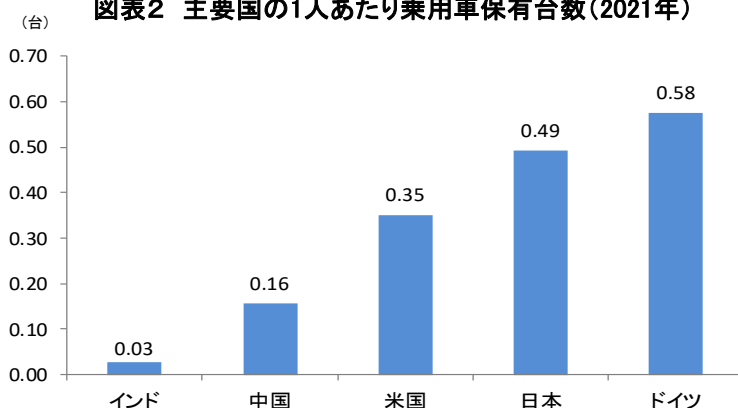


### 有望視されるインド市場

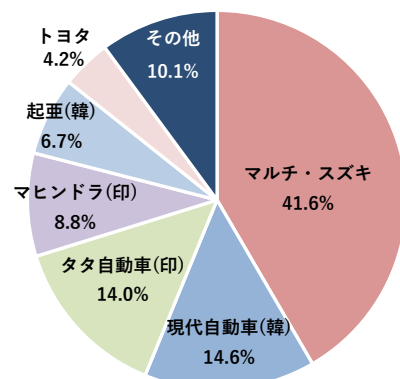
2022年末のインドの人口は14億1,700万人で、中国(14億1,200万人)を抜いて世界一の人口国となったとみられています。また、インドの1人あたりの乗用車保有台数は0.03台と低水準にとどまっております(図表2)、中間所得層の増加や政府の自動車普及に向けた積極的な支援策の中で、自動車販売は今後さらに拡大する見通しです。

現在、インドの自動車市場では、スズキ傘下のマルチ・スズキが最大のシェアを占めていますが、韓国や地場大手メーカーも積極的に事業展開しています(図表3)。今後、この期待の成長市場に向け、国内の自動車関連企業においても新規参入・事業強化の動きが活発化する可能性があります。

図表2 主要国の1人あたり乗用車保有台数(2021年)



図表3 インドの乗用車市場シェア(2022年)



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：中川(Tel.080-9951-8597)までお願いします。